

協議(意見交換)

きたかみ型地域包括ケアシステム構築の 成果と課題について

2-1 北上市介護保険事業の現状と推移について

2-2 在宅きたかみの10年

～北上市における在宅医療・介護連携拠点の取組について～

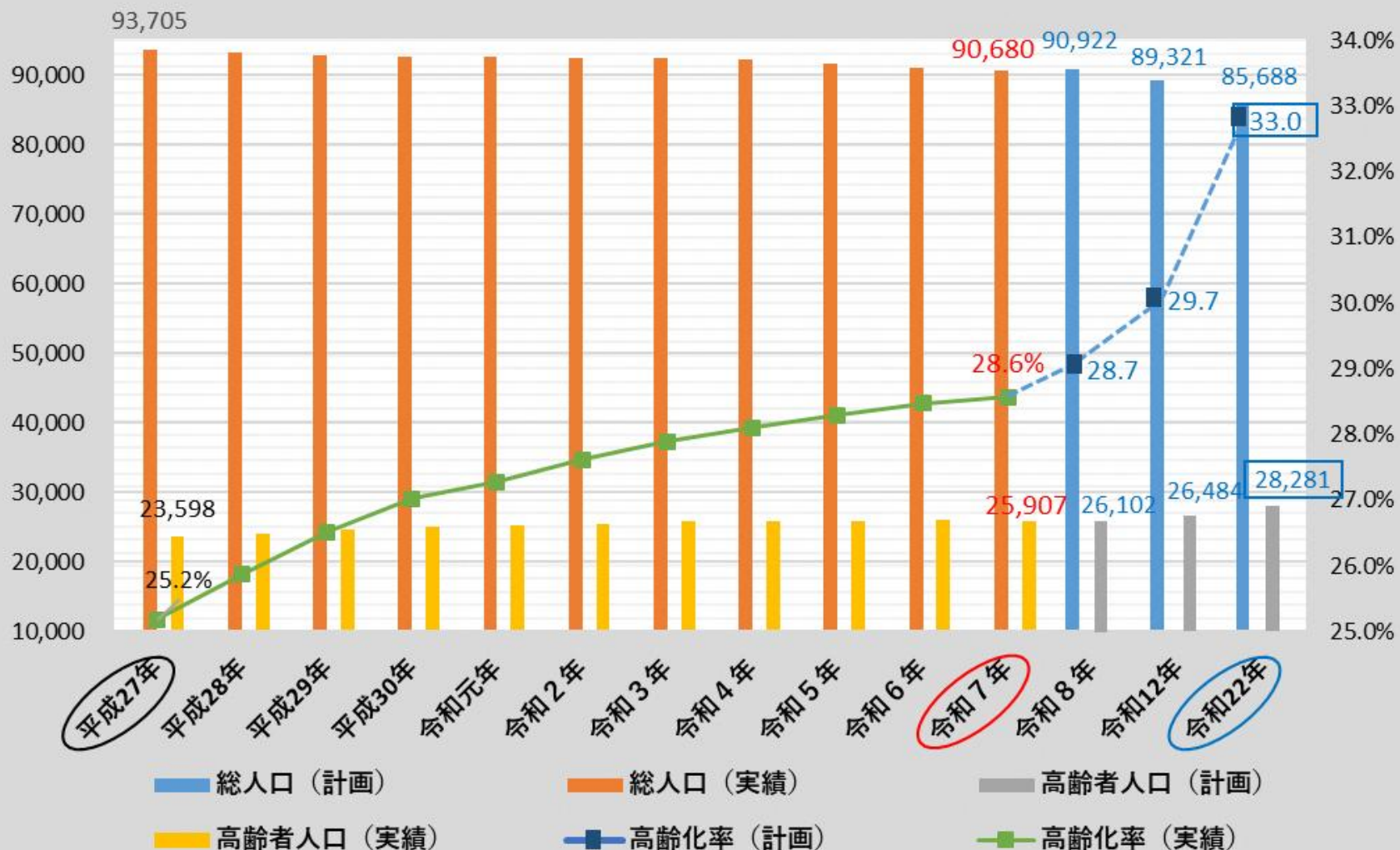
北上市福祉部長寿介護課
北上市在宅医療介護連携支援センター

北上市介護保険事業の 現状と推移について

北上市福祉部長寿介護課

きたかみいきいきプランの計画値と実績値

総人口・高齢者人口・高齢化率（H27～R22）

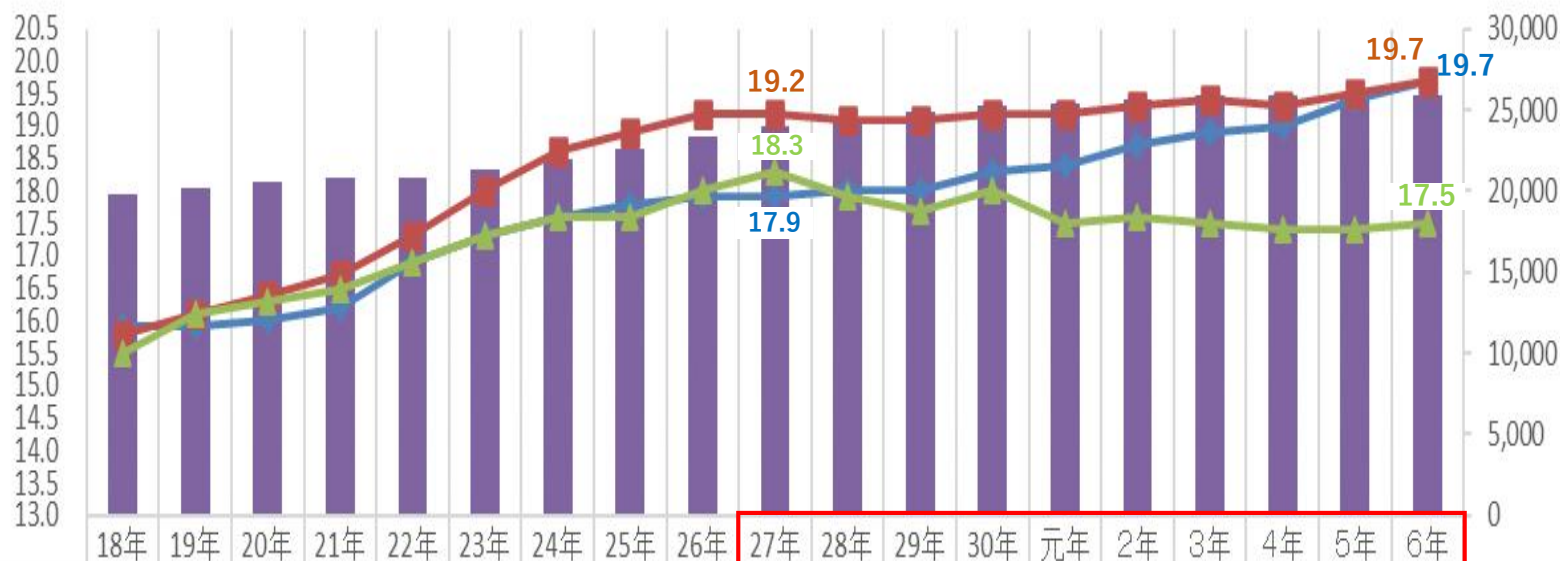


・高齢化率は年々高くなっている。令和22年（2040年）には、33.0%で3人に1人が65歳以上の高齢者になると予測している。⇒高齢者人口は今後増えるが、総人口が減少するため、高齢化率の上昇は続く。

北上市の介護認定率(全国・岩手県比較)

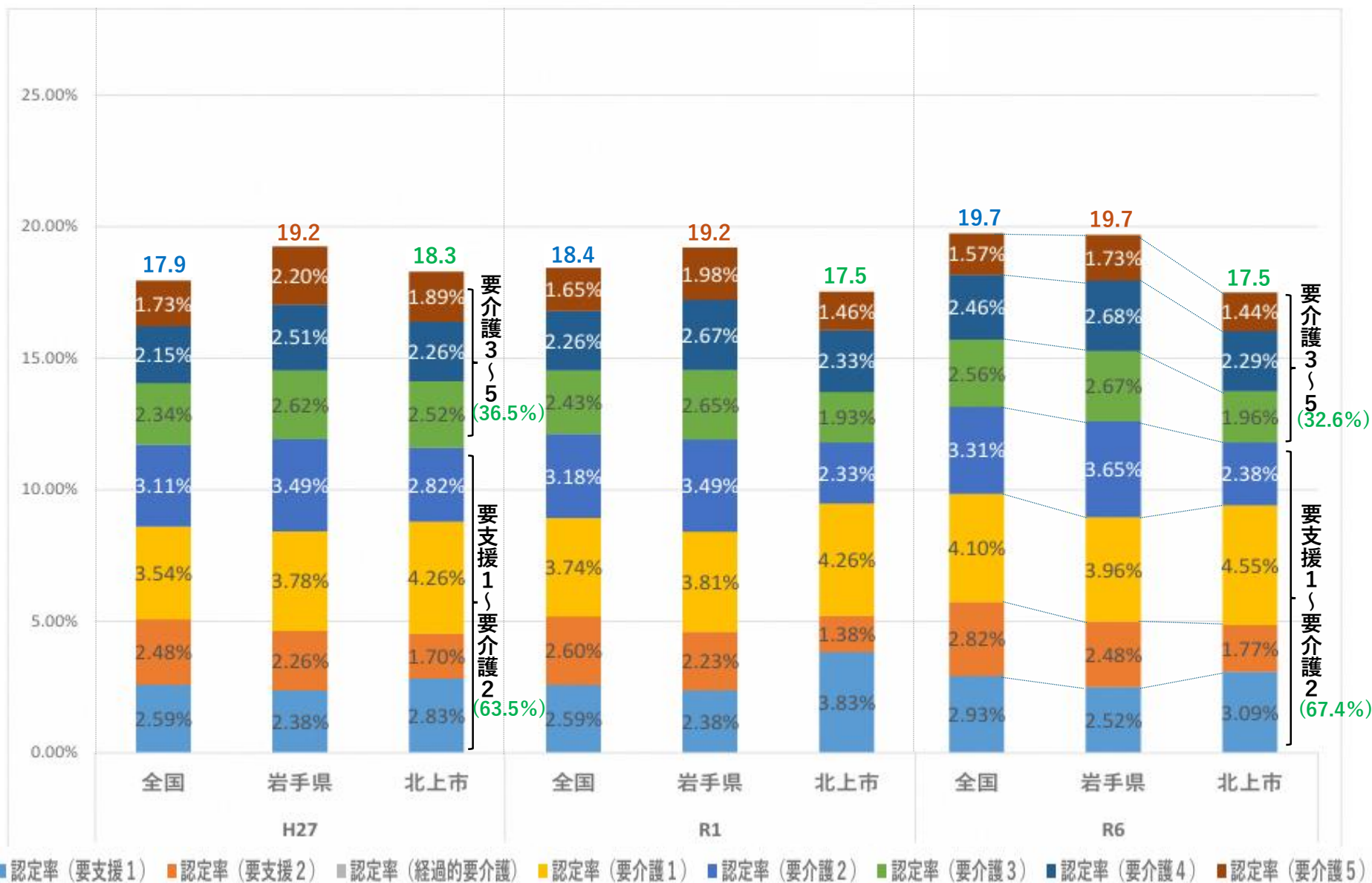
介護認定率(第1号被保険者)

「見える化システム」より(数値は各年度末)



- ・全国的には右肩上がりで推移し、岩手県全体でもその傾向となっている。
- ・一方、北上市はH28年以降減少に転じ、近年は横ばいを維持している。
- ・H29に介護予防・日常生活支援総合事業が開始され、いきいき体操などの地域活動が推進された。
- ・北上市の介護認定率が増加しないのは、介護予防事業の効果が出るなど、元気な高齢者が増え、かつ重度化防止につながっていると判断できる。

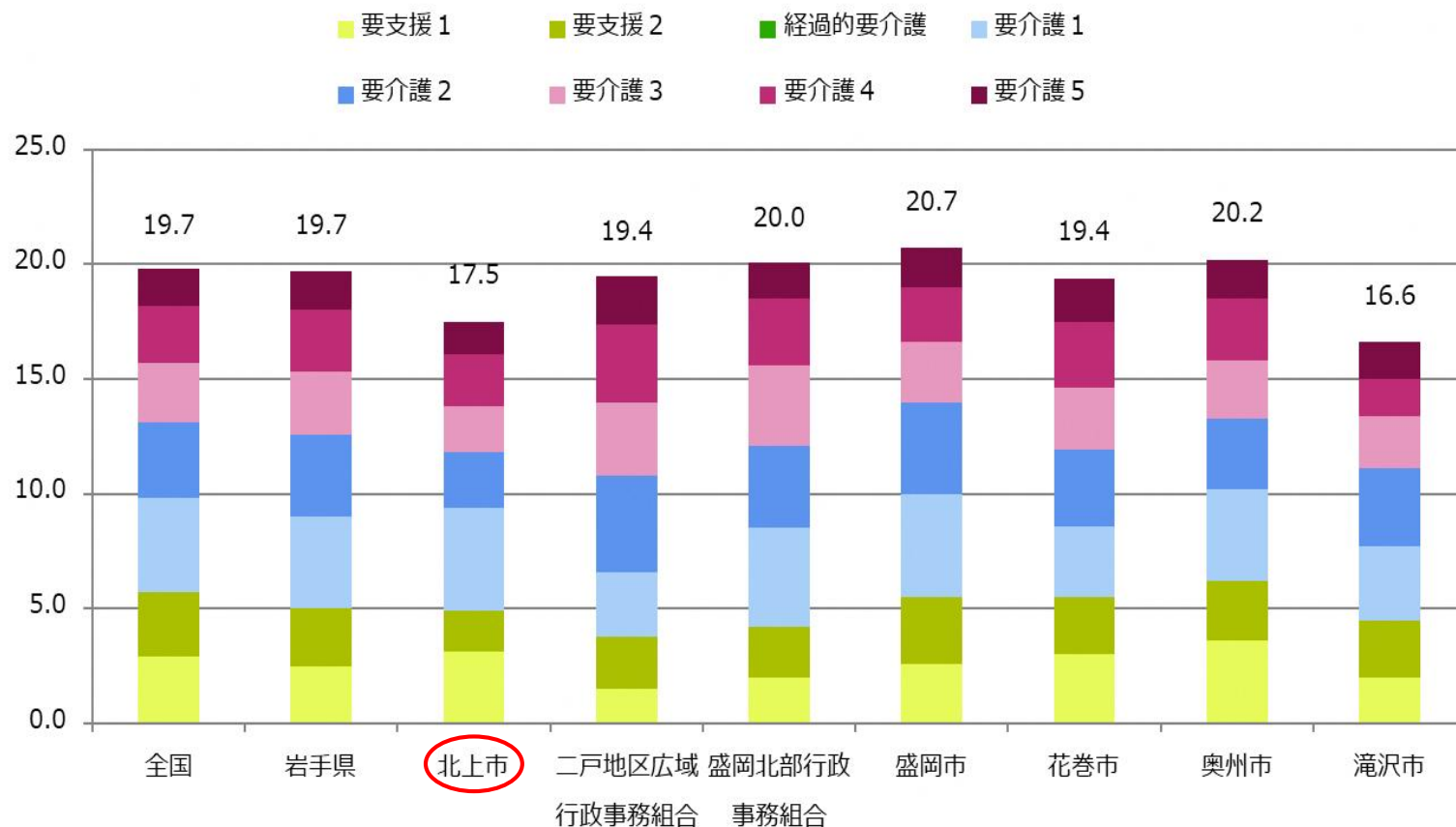
要介護度別介護認定率(全国・岩手県比較)



- ・北上市は要支援1、要介護1の軽度認定者の比率が多いが、要介護3以上の中・重度者の比率は低い。
- ・平成27年と令和6年の北上市を比較すると、軽度認定者の割合が増加し、中・重度者の割合が減少している。

要介護度別認定率(岩手県内保険者比較)

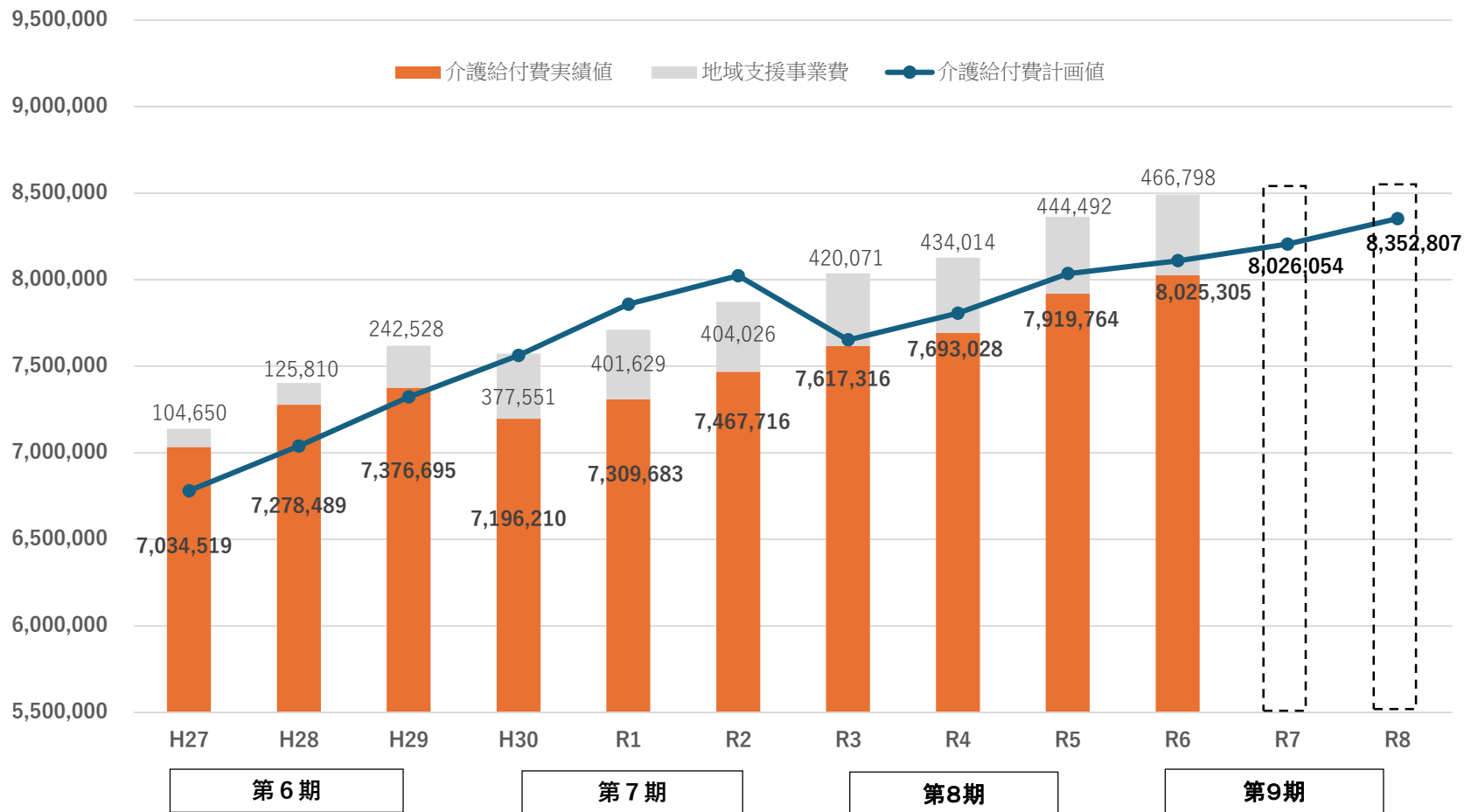
認定率(要介護度別) (令和6年(2024年))



(時点) 令和6年(2024年)

(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和5,6年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)

きたかみいきいきプランにおける介護給付費計画値と実績値の推移



- ◆ 第6期は実績値が計画値を上回り、第7期は逆に計画値が実績値を上回ることになった。
- ◆ 計画値より実績値の大幅な下ブレが生じたため、第8期では計画値を下方修正した。
- ◆ 第8期以降は乖離がみられず、ニーズに合った介護サービス供給や施設整備ができていると判断する。
- ◆ 介護給付費は年々増加傾向にあるが、10年前の予想よりは抑えられている。
- ◆ 第9期の状況を踏まえながら、第10期(R9～R11)における必要な介護サービスを計画する。

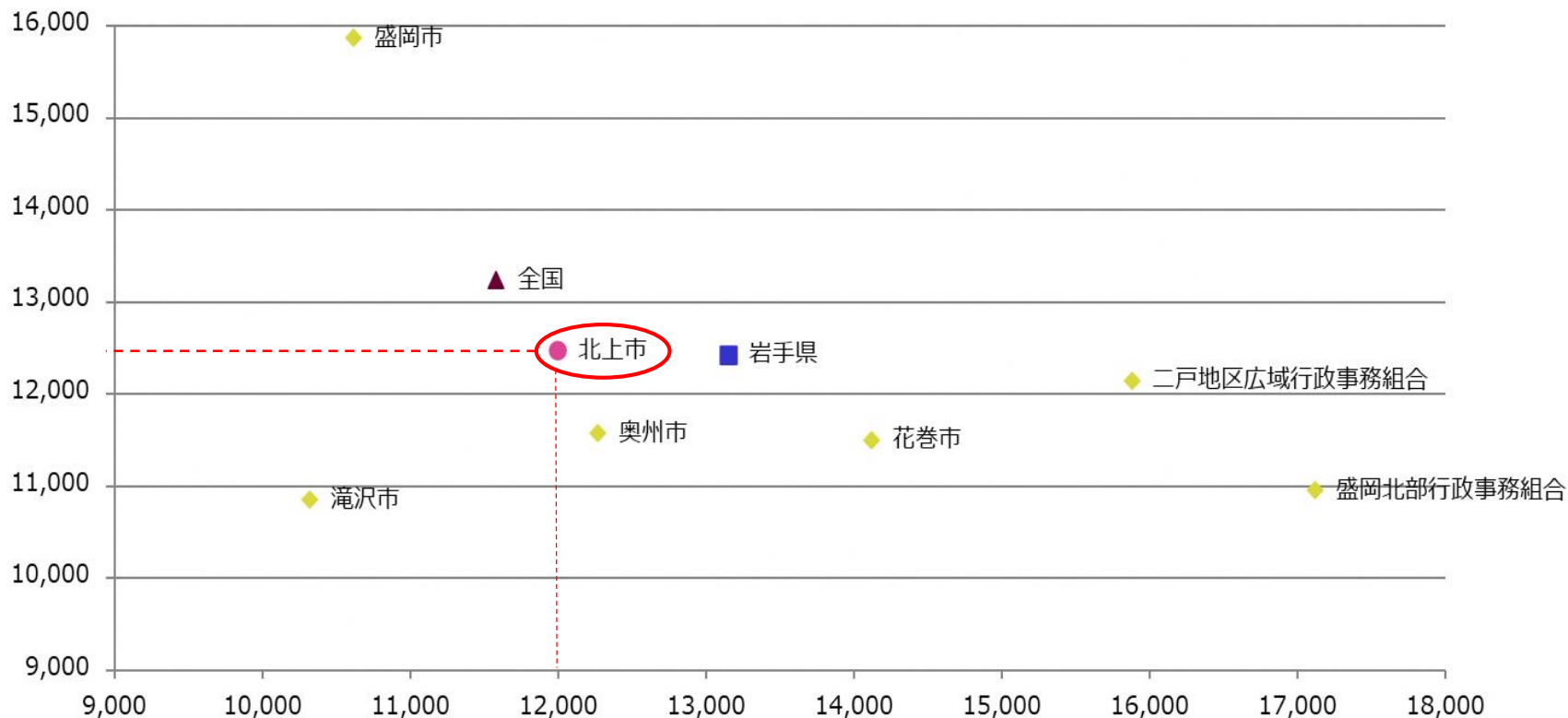
1人当たり給付月額(岩手県内保険者比較)

第1号被保険者1人あたり給付月額(在宅サービス・施設および居住系サービス)

(令和6年(2024年))

▲ 全国 ■ 岩手県 ● 北上市 ◆ その他地域

在宅サービス給付月額(円)



施設および居住系サービス給付月額(円)

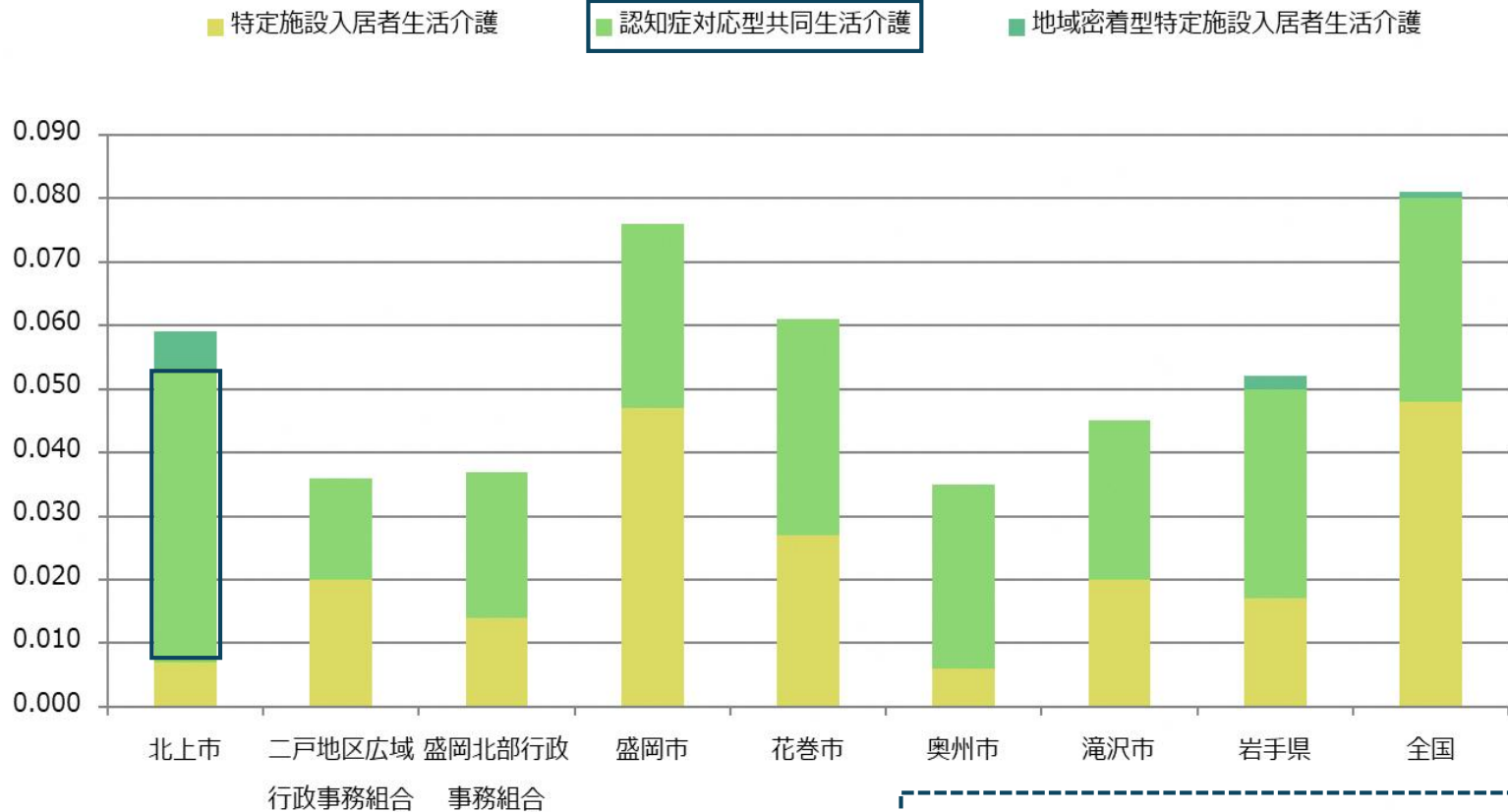
(時点) 令和6年(2024年)

(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和5,6年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)

- ◆ 北上市は全国平均に極めて近く、施設系サービスと在宅系サービスがバランスよく利用されている
- ◆ 過疎地域は施設系サービス、都市部は在宅系サービスの比重が高くなっている

居住系サービスの状況(定員)

要支援・要介護者1人あたり定員（居住系サービス別）（令和6年(2024年)）



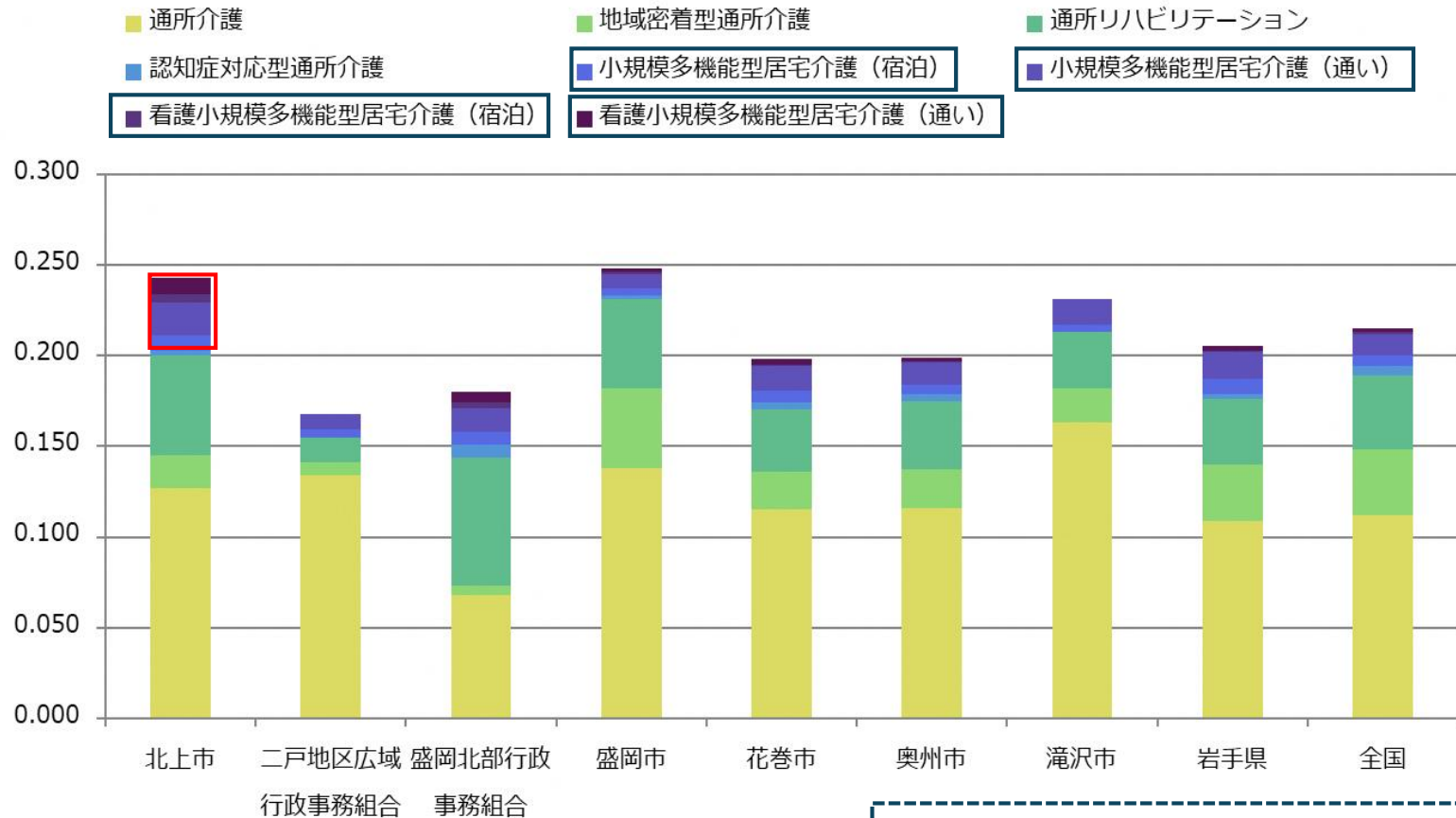
(時点) 令和6年(2024年)

(出典) 介護サービス情報公表システムおよび厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（年報未公表時のみ月報）

◆ **認知症対応型共同生活介護(認知症グループホーム)**の定員数は全国、岩手県平均及び他市に比べ大きく上回っているが、令和5年度・6年度にかけて2事業所が廃止となった。当市のサービス提供量はやや過大になっていると推量される。

通所系サービスの状況(定員)

要支援・要介護者1人あたり定員（通所系サービス別）（令和6年(2024年)）



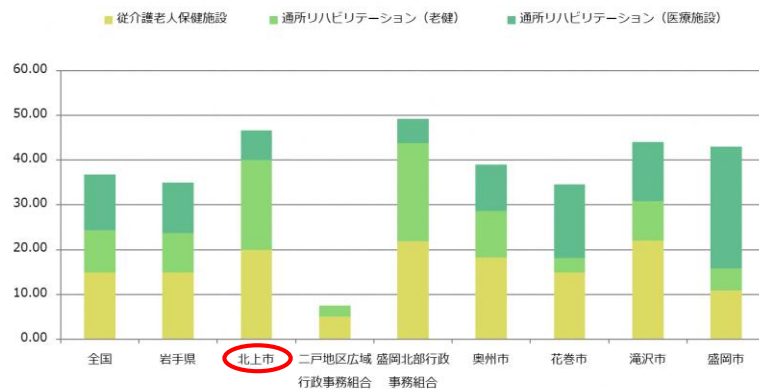
(時点) 令和6年(2024年)

(出典) 介護サービス情報公表システムおよび厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（年報未公表時のみ月報）

- ◆ 岩手県全体として見た場合、通所系サービスの定員数は高い水準にあり、特に小規模多機能型居宅介護及び看護小規模多機能型居宅介護の数値が高い。
- ◆ 通所介護(デイサービス)、通所リハビリテーションは標準的な数値となっている。

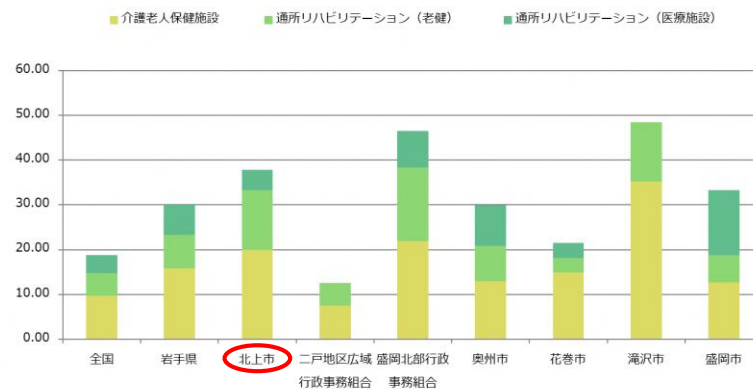
リハビリテーション専門職(PT・OT・ST)の状況

従事者数 **(理学療法士)** (リハビリテーションサービス) [認定者1万対] (令和4年
(2022年))



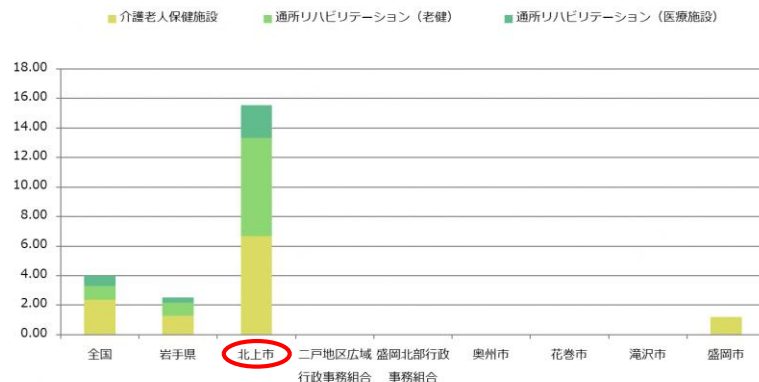
(時点) 令和4年(2022年)
(出典) 厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」および厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報

従事者数 **(作業療法士)** (リハビリテーションサービス) [認定者1万対] (令和4年
(2022年))



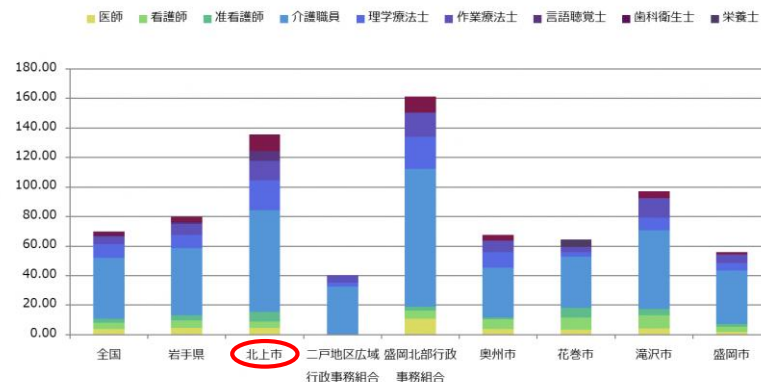
(時点) 令和4年(2022年)
(出典) 厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」および厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報

従事者数 **(言語聴覚士)** (リハビリテーションサービス) [認定者1万対] (令和4年
(2022年))



(時点) 令和4年(2022年)
(出典) 厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」および厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報

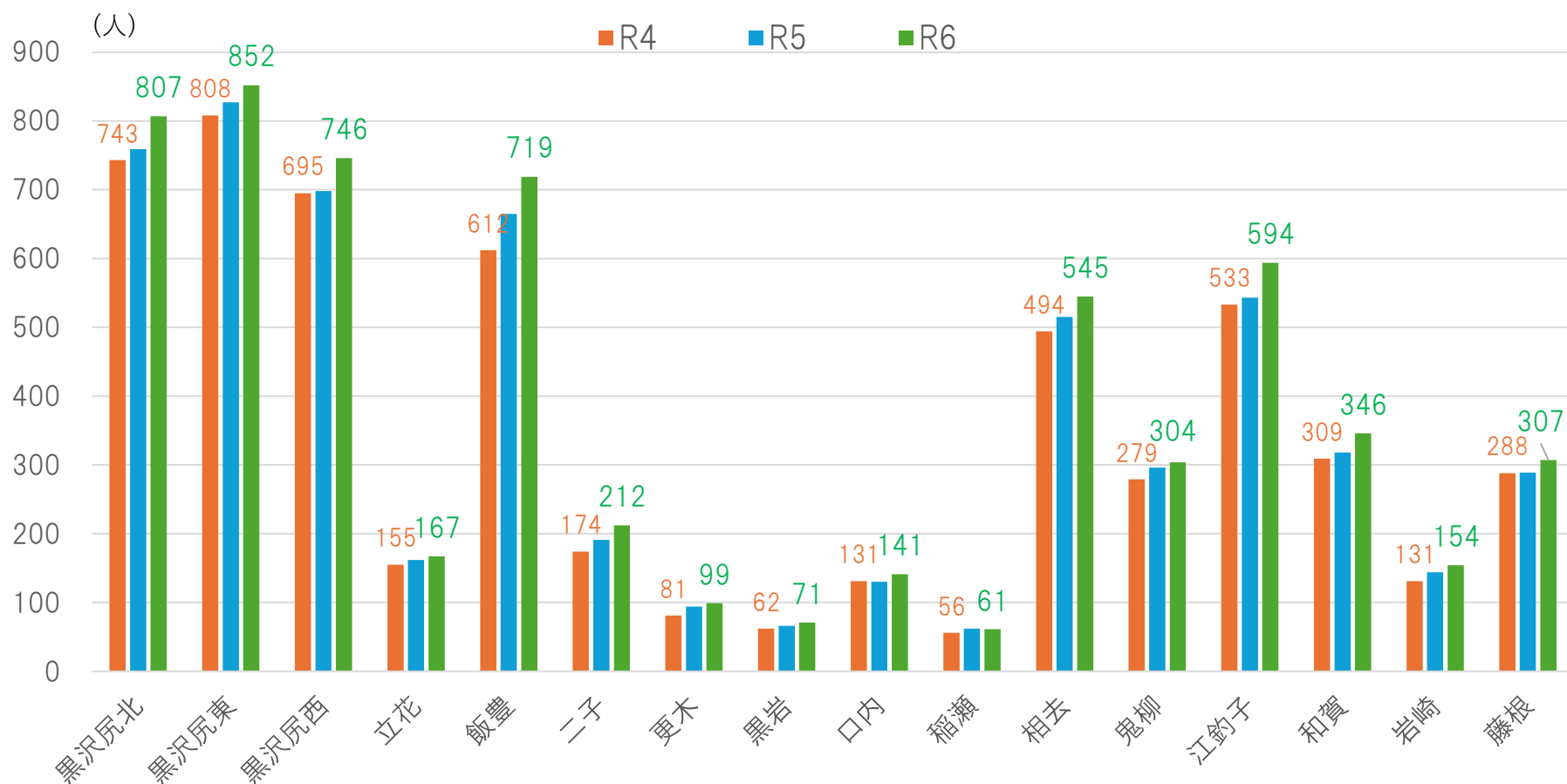
従事者数 **(通所リハビリテーション (介護老人保健施設))** [認定者1万対] (令和4年
(2022年))



(時点) 令和4年(2022年)
(出典) 厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」(老健局老人保健課にて指標化)および厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報

- ◆ PT、OTの従事者数は、全国・岩手県の平均値を上回っている。
- ◆ STの従事者数については、当市が圧倒的に突出しており、当市の特徴的強みと言える。
- ◆ 新たな施設の開所により、リハ専門職がさらに増加していることが見込まれ、サービス供給状況や事業者間の競争性は注視する必要があると思われる(供給過多にならないか) ※医療保険での分析は除く

ひとり暮らし高齢者数(R4～R6 市内16地区別)

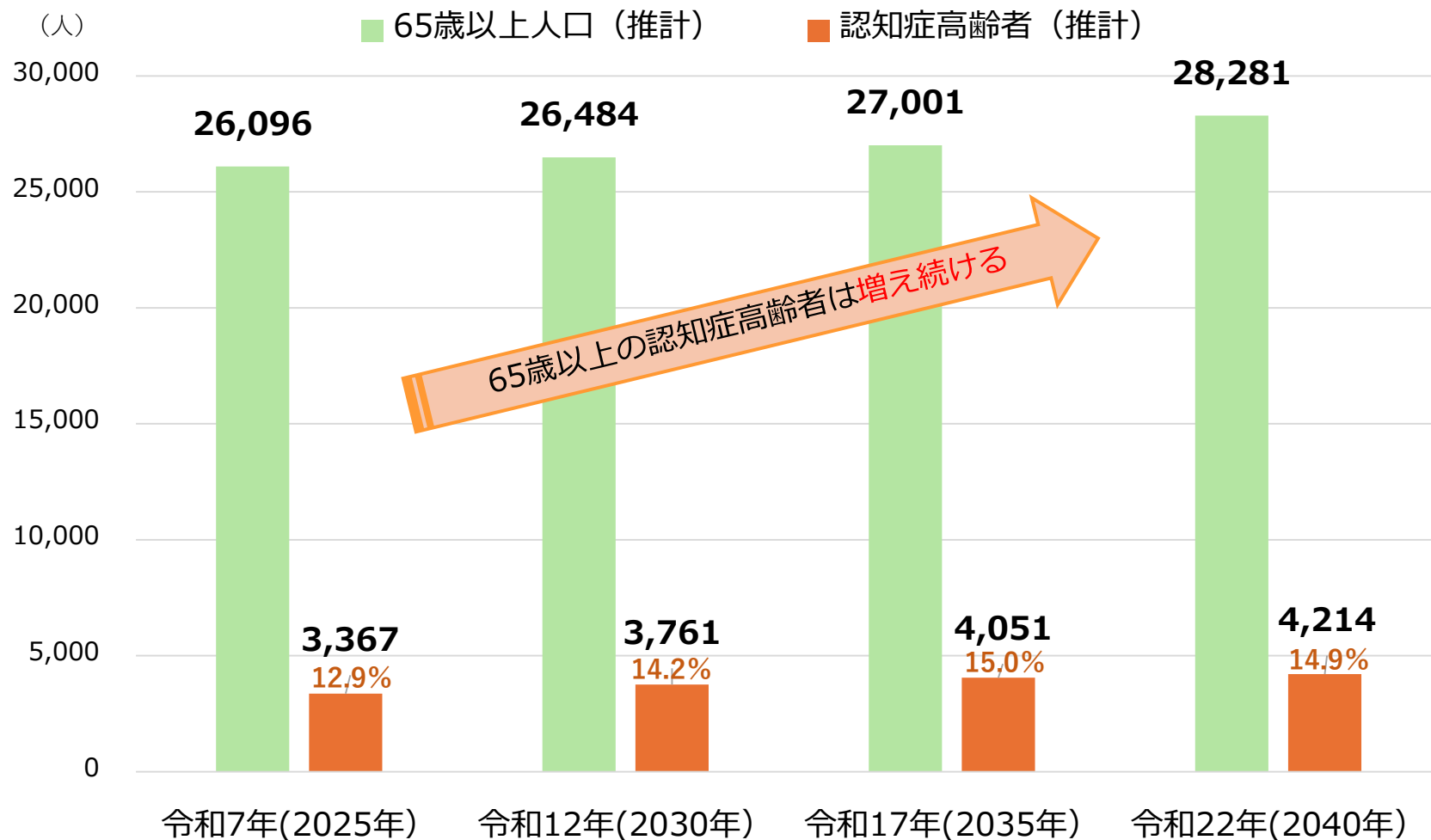


各年9月末時点 北上市長寿介護課調べ

- ◆ ここ3年、高齢者人口の変化はあまり見られないが、1人暮らし高齢者はどの地区も**増加傾向**にある。
- ◆ 増加率では、更木、二子、飯豊、岩崎地区が多い

年	高齢者人口	一人暮らし	割合
R4	25,923	5,551	21.4%
R5	25,938	5,759	22.2%
R6	25,947	6,125	23.6%
増減	24	574	

認知症高齢者数の推計(R7～R22/2040)



R6.5.8 国が公表した認知症有病率（令和5年度老人保健事業推進費等補助金「認知症及び軽度認知障害の有病率調査並びに将来推計に関する研究」）による推計
北上市長寿介護課調べ

高齢化の進行により、介護保険事業の役割はますます重要となっていきます。

持続可能で安心できる支援体制を築いていけるよう、今後とも連携と御協力をお願いします。